

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」南松本校		
○保護者評価実施期間	2025年11月3日		～ 2025年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年11月3日		～ 2025年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者だけでなく、保護者に対しても共感的に対応し、支援につなげることが出来ている点	毎回の支援終了後、利用者の様子や支援内容を保護者と共有した上で、保護者から最近の様子を伺い、次回への取り組みへとつなげていくことを大切にしています。 特に、事業所以外での様子は支援の参考になる場合が多いため、積極的に何ようようにしております。	現状の取り組みを継続していくのと同時に、支援後のフィードバック以外での相談にも応じながら、保護者との連携を深め、さらに安心感をもってご利用いただけるよう取り組んでまいります。
2	支援内容について、保護者のアセスメントやフィードバックを職員同士で共有し、新しい支援のアイデアや方法を取り入れている点	常日頃から、職員同士が利用者の支援について検討し合う環境を設けることが出来ております。支援内容だけでなく、最近の利用者や保護者の様子も確認し合い、よりよい支援に向かって意識を高めながら取り組んでおります。	風通しの良い環境は、職員の不断の努力によって醸成されていくと考えおります。引き続き、些細なことでも共有や検討し合える環境を維持しながら取り組んでまいります。
3	職員同士が、利用者や保護者についての情報共有を積極的に行うことが出来ている点	利用者の様子や保護者からのお話は支援の入れ替え時間も含めてすぐに共有し合い、当日公休の職員に対しても工夫をしながら伝達しております。また、週に1度すり合わせの会議でも再度共有し、抜けが無いようにしています。	現状の取り組みを継続しつつ、安定運営に取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室環境について、複数人数が運動するには少し狭く感じる場面がある点	教室の床が固く、マットの面積が不足していることもあり、十分な運動が出来にくい環境であると考えています。	パーテーションの位置の工夫などによって、運動に十分なスペースを確保できるように努めていきます。また、保護者への丁寧な説明をしながら、ご理解いただけるように努めてまいります。
2	資料やデータ整理が不十分で、アクセスする時間が増えていたために、業務の負担を感じてしまう点	業務の可視化が不十分であり、業務負担の偏りが発生していたと考えます。	ICTを活用し、業務内容を職員全員で確認できる状態にします。役職や役割に応じた業務分担となるよう、工夫してまいります。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」南松本校					公表日	2026年 2月 14日		
						利用児童数	8	回収数	8
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	4	0	0	少し狭いかなと感じる時がある	ご意見いただきありがとうございます。人数が多い時にはパーテーションなどで集中できるような環境を整えてまいります。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2	0	0		職員が安定して働き続けられるように、定期的な面談など、職場環境をよくする取り組みを続けてまいります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	4	0	0		お子さまが落ち着いて過ごせる場所をつくれるように工夫してまいります。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	1		より視覚的にわかりやすく、整った環境を作ってまいります。		
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1	0	0	発語の促しや新しいことに慣れさせることをしてもらいありがたいと思う	ありがとうございます。今後も、ご本人に合わせたプログラムを職員一同協力しながら作成していきます。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	1		今後も振り返りの時間を大切に、より安心してご利用いただけるように努めてまいります。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7	0	0	1	個性を理解してくれていて、好きな玩具などをサツと用意してくれる	ありがとうございます。今後も保護者様と連携しながら個別支援計画書の作成をしております。		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	2	0	0	急遽支援を入れてもらうことも多いが、その都度対応していただけて、発達が促されてありがたい	ありがとうございます。今後も様々な観点から多角的にお子さまに合った計画を作成していきます。また、分かりやすく具体的な計画の作成を行ってまいります。		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	1	0	0		今後も、個別支援計画に沿った支援を行ってまいります。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	2	0	0	支援員が固定ではないのもとてもよい	ありがとうございます。様々な指導員の視点からお子さまと関わってまいります。		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	2	1		今後検討していく予定です。開催時期や詳細などが決まりましたら、お知らせいたします。		
保護 者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0	いつも丁寧に説明がある	今後も丁寧に説明を心がけ、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0	細かく計画を立ててくださるし、相談もあるのもとてもよい	ありがとうございます。今後も丁寧に説明を心がけながら、ご質問にはいつでも回答してまいります。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	0	1	これからこのまま続けてほしい	ありがとうございます。今後も継続して実施してまいります。詳細などが決まりましたらご案内いたします。		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	8	0	0	0	とても熱心でありがたい。こどもだけでなく、親の相談などにも真摯に向き合ってもらい、満足	ありがとうございます。日々のご利用時に保護者様と情報交換の時間を設けております。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1	0	1	スパンを空けずに面談させていただき感謝	日々の振り返りの時間と、時期をみて面談のお声掛けをしております。ご相談時にはいつでもお声掛けください。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	2	0	0		今後もお子さまや保護者様の思いを受け止めながら、丁寧な対応を心がけてまいります。		

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	2	0		保護者会につきましては、現在検討中です。開催時期や詳細などが決まりましたらお知らせいたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	0	1		ご相談にはいつでも対応できるように体制を整えてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		毎回支援後に振り返りの時間を設けております。今後も丁寧な説明を心がけてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	0	1		事業所評価につきましては、当事業所のホームページにて公表しております。更新時にはお知らせしてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	1	0	2		個人情報の取り扱いには、今後も職員一同より一層意識を高めながら進めてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	0	2		マニュアルや計画に基づいた訓練を実施した際には、教室掲示を行い、お知らせしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2	0	2		非常災害に備えた訓練を実施した際には、実施の様子などをお知らせしてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1	0	1		安全の確保と年間計画に沿った研修や訓練を実施しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	1		事故発生時等は、その大小を問わず速やかに保護者様へお知らせいたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0	大好きな場所になっており、第二の家だと思っていそう	ありがとうございます。今後もお子さまが安心してご利用できるように、丁寧な支援を心がけてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	1	0	0	いつも楽しく通所している	ありがとうございます。今後もお子さまの特性や好みに配慮しながら、楽しんでいただける支援を提供できるように、職員一同スキルアップしてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1	0	0		今後も丁寧なアセスメントや面談を通して、お子さまの成長に合わせた支援提供に取り組んでまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」南松本校	公表日	2026年 2月 14日
------	--------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		人数が多くなる時は、二部屋を活用しながら適切なスペースを確保しております。	同時間に多くの支援をする場合には、パーティションなどで工夫して、集中できる環境を整えてまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	制度上の配置基準以上の職員を配置できるように努めております。	安定した運営となるよう人員を確保してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		イラストなどを使用し、お子さまにもわかりやすい環境を整備しております。	引き続き教室内の掲示を分かりやすいものにしていくなど、よりよい環境を整えてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		お子さまに合わせた環境を提供できるように、情報共有を密にとりながら、環境整備に努めております。	安心してご利用いただけるように、こまめな換気や消毒を行ってまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子さまの様子を見ながら、別の部屋などを使用して、安心して過ごせるような体制を整えております。	必要に応じてパーティションや別の部屋をご案内し、安心して過ごせる環境整備を継続してまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員全体で、PDCAサイクルに沿いながら、日々の情報共有などの細やかな連携も意識して取り組んでおります。	それぞれの職員が主体的にPDCAサイクルを行いながら業務改善できるようにしてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1度の保護者様対象のアンケートを実施しております。いただいたご意見や結果について職員全体で共有し、改善に努めております。	年に1度の保護者様対象のアンケートでいただいたご意見については、事業所内はもちろん、上長とも共有しながら改善できる体制を整備いたします。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼や夕礼に加えて、職員との定期的な面談の時間を設けております。また、職員同士が常に意見を出し合えるような風通しのよい職場に努めております。	毎日の朝礼や夕礼、定期的な面談を実施して、職員同士が話しやすく風通しのよい職場環境の工夫をしてまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在第三者による外部評価は行っておりません。	第三者による外部評価については今後検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内の研究所である発達支援研究所主催の定期研修に参加しております。また外部の研修会にも参加しております。	発達支援研究所の定期的な研修に加えて、他事業所と交流の機会を増やし、職員の資質の向上を図ってまいります。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援計画に基づき、日々のプログラム作成を行っております。また事業所のホームページにて公表しております。	引き続き、支援プログラムの公表と周知に取り組んでまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		半年に1回のアセスメントを実施しております。それに基づき、事業所内で会議を開いたうえで、個別支援計画書を作成しております。	アセスメントやモニタリングに基づき、事業所内支援者会議を開催し、ニーズや課題を分析しながら個別支援計画書の作成に取り組んでまいります。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画書を作成する際には、必ず事業所内で会議を設定し、お子さまの現状や今後の見通しについて話し合いを重ねております。計画書類は事業所内で共有の時間を設けて、全員が共通理解のもと支援に当たれるようにしております。	お子さまや保護者様からの意見を共有しながら、支援者含めた事業所内支援者会議を開催し、共通理解の上で支援提供を行ってまいります。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画は職員が常に参照しやすい状態にし、日々支援計画を確認しながら支援が行えるよう環境を整えております。	個別支援計画の共有に加えて、必要に応じて事業所内で支援内容について話し合いの機会を設けて、より細やかに対応できるように努めてまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さまの状況を、フォーマル/インフォーマル両方のツールを使いながら、より細やかに把握できるように努めております。	より細やかなアセスメントを行うために、支援者同士が意見を出し合い、多角的にお子さまの様子を捉えられるようにしてまいります。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの支援や連携の狙いを踏まえ支援内容を事業所内で共有しながら取り組んでおります。	今後も家族支援、移行支援、地域支援などの他関係機関とスムーズに連携ができるように、支援者会議やモニタリングを通して、情報共有を行ってまいります。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは、支援を担当する職員だけでなく、事業所全体で情報共有しながら、立案を行っております。	お子さまを職員全員で担当しながら情報共有を密にし、支援提供できるように取り組んでまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムは、前回の活動を確認するほか、必要に応じて前回担当した支援者より直接情報交換しながら作成しております。	今後も活動記録を事業所内全体で確認と共有しながら、活動プログラムの作成に取り組んでまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子さまのニーズやご様子に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせる内容を個別支援計画に組み込み作成しております。	引き続きお子さまの発達を保護者様と共有し、必要に応じて個別活動と集団活動のバランスを鑑みながら個別支援計画書の作成を行ってまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝朝礼にて連絡事項を確認し、支援を開始するようにしております。	今後も毎朝の朝礼を欠かさず、チームで連携して支援が行えるように努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		一日の最後には終礼を行い、その日のお子さまの様子などを含めた連絡事項を確認し、次の支援につなげるようにしております。	今後も終礼時の情報共有と書面や社内ICTツールなどを活用し、職員全員に伝達されるように工夫してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		事業所内で共有するツールを使用して、日々の支援を提供しております。	今後も支援記録の入力を徹底しながら、情報共有のツールとしても活用してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、細かな変化も保護者様と共有することで必要に応じて個別支援計画を変更できるようにしております。また、入所直後は時期を細かくするなど、一人ひとりの状況に合わせて実施しております。	今後もお子さまの発達やニーズの変化に対応し、必要に応じて個別支援計画書の見直しを行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援者会議前には、事業所内で最近の様子についてすり合わせを行い、共通理解を得たうえで参加することを心がけております。	今後も支援者会議前には事業所内でのすり合わせを行い、支援の様子や発達についての見直しを立てつつ参加ができるようにしてまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携し共通理解を得ながら支援できるように、支援者会議を行っております。	引き続き、支援者会議後には会議内容の伝達会議を開き、共通理解を持って支援提供ができるように努めてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所や幼稚園との支援者会議に出席参加し、お子さまの様子を共有しながら並行利用や移行に向けての取り組みを行っております。	お子様についての綿密な情報共有を重ねたうえで、各事業所の役割を意識した支援を心がけてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		関係機関との連携の際には、移行後にも安心して生活するための情報共有を行っております。	就学後も安心して生活が送れるように、関係機関との連携と情報共有、相互理解の為に積極的に会議に参加してまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			センターのみ回答の為、非該当	センターのみ回答の為、非該当
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。			センターのみ回答の為、非該当	センターのみ回答の為、非該当
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。			センターのみ回答の為、非該当	センターのみ回答の為、非該当
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		地域の児童発達支援センターと積極的にかわっていきけるように、体制を整えてまいります。	連携時には、助言を最大限有効に活用できるように情報共有に努めてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の中で他のお子さまと交流する機会やイベントの開催を検討してまいります。	今後検討してまいります。開催時期や詳細などが決まりましたら、お知らせいたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後の振り返りの時間に、保護者様とお子さまの近況について共有しております。	今後もお子さまの状況を踏まえて、相談支援や支援内容についての共有を行ってまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		外部の方に入っていただきながらの家族支援プログラムを開催いたしました。	今後も保護者様のニーズに合った機会の開催を計画してまいります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や変更があった際には、丁寧に説明しております。	今後も丁寧な説明を行ってまいります。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画書作成前に保護者様と面談し、計画の方針を確認しながら作成を進めております。	今後もお子さまや保護者様のご意向を確認し、個別支援計画書を作成してまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書は、保護者様へ読み合わせと説明を行っております。	安心してご利用いただけるように、説明時には目標や支援内容をわかりやすくお伝えしてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の振り返りの時間はもちろん、必要に応じて、個別相談のご予約をいただいております。	今後もお子さまの状況を踏まえ、相談支援や支援内容についての共有を行ってまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		発達支援研究所の所長をお招きしての保護者会を開催いたしました。	小規模な形であっても積極的に開催することを検討してまいります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様やお子さまから相談があったときには速やかに対応しております。また、相談支援についてのチラシを教室内に掲示し、周知しております。	今後も、相談や申し入れ時には迅速に対応してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		今後は、当事業所用のSNSでの発信を進めてまいります。	今後は、定期的に更新ができるように、職員で分担しながら運用してまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報記載書類は鍵付きの書庫に保管しております。個人情報の取扱いについての研修等を通して職員全員が意識し取り扱えるように進めております。	個人情報記載書類は鍵付きの書庫に保管しております。個人情報の取扱いについての研修等を通して職員全員が意識し取り扱えるように進めてまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		一人ひとりに合わせたツールを作成するなどして、お子さま自身の気持ちが表示できるようにサポートしております。	お子さまの特性や発達に合わせて気持ちが表示できやすくなるツールを作成し、気持ちを受けとりながら支援を続けてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	○		今後、どなたでも参加できるイベントを企画していく予定です。詳細など決まりましたら、お知らせいたします。	小集団での活動など、地域のニーズに合わせたイベントの開催を検討しております。詳細など決まりましたら、お知らせいたします。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年間計画に沿って、月に1回訓練を行っております。また、利用者を含めた防災訓練も定期的実施しております。	年間計画に沿って、月に2回訓練を行ってまいります。また、利用者を含めた防災訓練も定期的実施してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画(BCP)を策定しております。今後は、保護者様や利用者が参加した伝達訓練の実施も検討してまいります。詳細等決まりましたら、お知らせいたします。	引き続き、業務継続計画(BCP)をもとに、安心してご利用いただけるように体制を整えてまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認するとともに、随時服薬や予防接種、てんかん等について情報共有を行っております。	今後も安心してご利用いただけるように、情報共有を密に行い、支援提供してまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在食事の提供はございませんが、アレルギーについて表でまとめて保管しております。	今後もアレルギー情報を集約し、万が一の事態を予防してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎日の安全点検を行っております。また年間計画に沿って、研修や訓練に参加し非常時に対応できる体制を整えております。	引き続き、毎日の安全点検を行ってまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		教室内に安全計画に基づく取り組みを周知する場所を設け、周知してまいります。	今後も、机上での緊急事態対応の確認と、実際の動きを想定した訓練を行い、その内容について、教室掲示などで周知してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが起こった際には書面でまとめて職員間で共有しております。また、再発防止に向けての会議も随時行っております。	今後も、ヒヤリハットの内容を適宜振り返りながら、より安全な環境での支援ができるように、改善を続けてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員が、虐待防止研修に取り組むとともに、チェックリストを使用し、自らの支援を振り返る機会を設けております。	今後も全職員が、虐待防止研修に取り組むとともに、チェックリストを使用し、自らの支援を振り返る機会を設けてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束が必要な対象者は現在おりませんが、必要に応じて、事業所内で話し合い、共有いたします。また、その際には、個別支援計画にも明記し、保護者様に説明とご同意をいただけるようにしてまいります。	身体拘束についての研修を定期的に行い、職員の知識とスキルの向上に努めてまいります。